

## 【村上財団 パブリックリーダー塾】 募集要項

### 1. 本プログラムの目的

世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数2022によれば、日本のジェンダー平等は146か国中116位と先進国最低レベルです。多様化する社会には多様なリーダーが必要であり、ジェンダー平等において大きく遅れを取っている日本には、今こそ女性のパブリックリーダーが求められています。

村上財団では、日本の社会課題に正面から取り組む志をもった女性たちに対し、経済的支援、実践的な学習機会、そして志を同じくする女性参加者同士のコミュニティを構築することで、次世代を担う女性政治家を輩出し、日本の社会的課題の解決とジェンダーギャップ解消を目指して参ります。

### 2. 財団からの支援

将来的に政治家を志す10代、20代、30代の女性を公募し、公正・中立な審査委員会の審議を経て、パブリックリーダーとして今後の活躍が期待される適切な対象者を選定、教育プログラムを無償提供します。なお、応募者の個別具体的な政治思想や、支持政党、国政・地方政治の別は問いません。

#### (1) 支援人数

10～20名程度

#### (2) 求める人物像

- ① 日本社会に対する問題意識と明確なビジョンを持つ方
- ② 日本のジェンダーギャップに問題意識を持つ方
- ③ グローバルな視点を持ち、世界基準で物事を考えられる方

#### (3) 支援内容

- 講師を招いた全9日程の講義
- マニフェスト作成ケーススタディー（講義に含む）
- チャレンジサポート100万円の支給

【注】政治資金規正法に則り、「公職等の候補者」に該当する方には支援を行うことができません。そのため、プログラム終了前に立候補の意を固められた方に対しては、立候補を表明する前までの期間に限定して経済的支援、および学習機会の提供を行うものとします。

- (遠方にお住いの場合) 対面授業への出席にかかる交通費
- (お子様がいらっしゃる場合) 講義会場における託児サービス

#### (4) チャレンジサポートの支援条件

- 講師を招いた全9日程の講義のうち、欠席が2日程以内であること。  
—— 特別な事情により講義を欠席する場合は、必ず事前に事由を報告すること。
- 最終日程に行われるマニフェストの発表会にて、発表を行うこと。

### 3. 講義の概要

#### (1) 講義のスケジュール

- いずれも土曜日 13:00~17:30  
2022年：11月12日、11月26日、12月10日、12月17日  
2023年：1月14日、1月28日、2月11日、2月25日、3月11日

#### (2) 会場

- 東京・赤坂見附 (4日程)
- オンライン (5日程)

#### (3) 主な学習内容 (予定)

社会問題	リーダーシップ <sup>o</sup>	行政機構・選挙戦略
こども・女性活躍政策	傾聴力	女性の政治参加
経済・金融政策	対話力	日本の行政機構
DX 政策	交渉力	選挙制度・戦略
外交・安全保障政策	説得力	選挙ハラスメント対策

## 4. 応募要件

次の要件をすべて満たす個人が応募可能です。

- 2022年応募時点で10代、20代、30代の女性であること（性自認が女性の方を含む）
- 本プロジェクトの趣旨に賛同し、将来的に政治家となる志を有すること
- 財団の求める、以下の人物像に合致すること
  - ① 日本社会に対する問題意識と明確なビジョンを持つ方
  - ② 日本のジェンダーギャップに問題意識を持つ方
  - ③ グローバルな視点を持ち、世界基準で物事を考えられる方
- 反社会的勢力（暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業・団体、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団、その他これらに準ずる者をいう）に該当しない、かつ関わっていないこと
- ネットワークビジネス、マルチ商法、宗教、保険、同業者による勧誘などを行っていないこと
- 過去5年の間に禁固以上の判決を受けていないこと
- プロジェクト開始後、インタビューや、写真・動画の提供をお願いした際に、これに協力すること
- 現在被選挙権を有する、あるいは近い将来日本国籍を取得する可能性の高い方

## 5. 審査方法

[応募者情報 \(google.com\)](#)より提出された応募内容、推薦書をもとに審査を行います。応募内容の詳細は、「6. 応募手続き」をご参照ください。

### (1) 審査方法

事務局、および第三者の専門家による公平・中立な審査委員会を設置し、書面による一次審査及び面接による二次審査を行います。審査に際して、必要に応じて事務局による電話、メール等によるヒアリングをさせていただく場合があります。一次審査通過者には、審査会終了後にご連絡し、オンラインでの二次審査会の面接時間をメールにてご案内いたします。

## (2) 審査結果の通知・公表

審査の結果（採択・不採択）は、二次審査終了後にメールにて通知します。なお、採否の理由などに関するお問い合わせには一切応じかねます。

## 6. 応募手続き

### (1) 応募期間

2022年8月4日（木）～2022年8月31日（水）23：59 まで

### (2) 応募方法

サイト URL : [応募者情報 \(google.com\)](#)

※ 応募申請フォーム（上記）から応募内容の記入と提出資料のアップロードをしてください。

※ 応募には下記が必要になります。

- ① ご本人の写真（顔がはっきりと分かるもの。必ずしも履歴書用の写真でなくても構いません。）
- ② 履歴書（日本語、または英語）
- ③ あなたが解決したいと考えている日本の問題点を1つ挙げた上で、その解決に向けた具体案を記述していただきます。（目安：200～500文字程度）

### (3) 応募に関する問い合わせ先

応募に関してのお問い合わせは、下記お問い合わせフォームからお願いいたします。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/657dbbf4261817>

### (4) 個人情報の取り扱い

一般財団法人村上財団ホームページのプライバシーポリシーをご覧ください。

## 7. 選考スケジュール（予定）

一次選考：書類審査（2022年9月中旬）

二次選考：面接審査（2022年9月下旬～10月上旬、オンラインにて実施）

結果通知：2022年10月18日（火）以降 順次

## 8. その他の事項

- プロジェクト参加決定後、一般財団法人村上財団と「覚書」を取り交わし、所定の手続きを経てプロジェクトへご参加いただけます。期限内にお手続きいただけない場合は、交付決定を取り消される場合があります。
- 講義は全て日本語で行われます。
- チャレンジサポート金100万円は、プログラムの最終日程後、2. (3)に記載の条件を満たした方に振り込みます。
- チャレンジサポートの資金使途につきましては、事後的にご報告をお願いします。
- なお、チャレンジサポートの授受は辞退可能です。二次選考通過のご連絡の後に、事務局より授受の意思を確認致します。
- 遠方にお住まいの方向けに支給する交通費にも、所定の条件がございます。詳しくは、二次面接試験時にお伝えいたします。
- 財団の広報活動の一環として、塾生として選ばれた方にはインタビューのお願いや、写真・動画の撮影・提供をお願いする場合があります。可能な範囲で構いませんので、ご協力ください。
- 本プロジェクトの参加申し込み時点で未成年者であった方については、それぞれ以下のご対応が必要となります。

### (1) 2022年10月18日時点で満18歳となる方

- 当団体から当該合格者に対して、合格通知後に改めて本プロジェクトの参加の意思を確認させていただきます。

### (2) 2022年10月18日時点において満18歳未満の方

- 二次選考の実施までに法定代理人（保護者など）の同意書をご提出頂きます。

- 応募に虚偽の内容を記載した場合、応募を取り消す場合がございますので、予めご承知おきください。

## 【参考】応募フォーム入力事項

※〈選択〉以外は自由記入となります。

■メールアドレス

■氏名フルネーム

■ **性別**（性自認のみが女性の場合も含む）

〈選択〉 女性/その他:

■ **生年月日**

■ **【応募時点で18歳未満の方のみ】本プログラムの参加には、保護者の同意が必要です。二次選考に進まれた際に、書面等で保護者の同意の有無を確認します。**

〈選択〉 はい、上記内容を良く理解しました。/その他:

■ **国籍**

〈選択〉 日本（近い将来、帰化する予定の方を含む）/その他:

■ **現住所**（海外にお住まいの方は、英語で構いません。）

■ **電話番号**（メールでご連絡がつかなかった際に使用します。）

■ **職業**（自営業、会社員、パート、主婦など）

■ **所属企業等の名称**

■ **政治関連の実務経験**（これまでに政治家の秘書や選挙活動等のご経験がございましたらご記入ください。）

■ **ご本人の写真のアップロード**（顔がはっきりと分かるもの。履歴書用の写真でなくても構いません。）

■ **写真の説明**（複数人写っている場合は、どなたがご本人なのか等。証明写真の場合は不要です。）

■ **履歴書のアップロード**（英語でも構いません。）

■ **公職の立候補者等（応募時点で、政治資金規正法第三条④の定める「公職の立候補者等」に該当しますか？）**

〈選択〉 該当する（該当する場合、本プログラムにはご参加いただけません。）/該当しない/  
その他:

■ **対面授業に参加できない、もしくは参加が難しい特別な事情があれば予めご教示下さい**

■ **あなたが最も関心のある社会問題、政策課題を3～5個程度挙げて下さい。**

■ **あなたが解決したいと考えている日本の課題を1つ挙げた上で、その解決に向けた具体案を記述して下さい（目安：200～500字程度）。**（WordやPDFで作成し、アップロードしてください。WordやPDFでのご提出が難しい場合は、フォームに直接入力可能）

以 上